

平成29年度 研究構想図

<p>【児童の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもらしく素直で明るい。 ○ 友達のよさを見付けたり、認めたりすることができる。 ○ 自信のあることには、意欲的に取り組むことができる。 ○ 話を聞く態度が十分に身に付いていない。 ○ ものごとに粘り強く取り組む姿勢が十分に育っていない。 ○ 「書く能力」「社会的な思考・判断・表現」「数学的な考え方」「科学的な思考・表現」「読み取る力」「解決する力」が弱い。(学力調査の結果から) 	<p>【学校教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心をみがき 体をきたえる 子ども ○ 自ら考え やりぬく 子ども ○ 認めあい 高めあう 子ども 	<p>【保護者の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な学力を定着させたい。 ○ 意欲を引き出せるよう授業を工夫してほしい。 ○ 個に応じた指導をしてほしい。
	<p>【育てたい児童像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち着いて話を聞き取れる子 ○ 何事にも進んで取り組める子 ○ 友達のがんばりを認めあい高めあえる子 	<p>【教師の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考える力を身に付けさせたい。 ○ 話す・聞く態度を身に付けさせたい。 ○ 努力する態度を育みたい。 ○ 互いに学び合い、認め合う態度を育てたい。 ○ 自ら考え、判断し、行動できる力を身に付けさせたい。

考える力を育む指導の工夫 ～国語科における読むことの指導を通して～

<p>目指す児童像</p> <p>低学年分科会</p> <p>場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる子</p>	<p>中学年分科会</p> <p>場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる子</p>	<p>高学年分科会</p> <p>登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を読み、自分の考えをもつことができる子</p>	<p>特別支援分科会</p> <p>内容の大体を理解して、自分で選んだ好きな言葉や場면을発表する子</p>
---	--	---	--

<p>身に付けさせたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動を表す言葉に注目し、登場人物の気持ちや人柄を想像して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や行動、情景などについて叙述を基に想像して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に登場人物の相互関係や心情を読み取る。 ・作者の使っている表現に気づき、自分の表現にいかす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話の聞いたり、絵本などを読んでもらったりしながら、絵本を楽しむ。(第1段階) ・教師の話の聞いたり、絵本などを読んでもらったりしながら、言葉の意味や話の内容の大体がわかる。(第2段階)
	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本などを読み、話の大体がわかる。 ・登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。(第3段階) 		

<p>専科分科会</p> <p>量感をもって数的な操作ができる子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計器を使わずにある面積の大きさの見当をつける。 ・ある単位で示された面積が実際にどれくらい大きくなるか見当をつけ実測する。

※専科分科会については、今年度は、算数科を中心に取り組む。

<p>研究の視点</p> <p>[研究授業を通して浮き彫りになってきた視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ めあて作りの工夫 ○ ノートの工夫
--